

No.2022-30

発行:2022 年 4 月 7 日

スローパンク検知機能を搭載した 「空気圧・温度管理サービス」の実証実験を開始

住友ゴム工業(株)(社長:山本悟)は、リースやレンタカーなどの自動車関連サービスを展開するオリックス自動車株式会社(社長:上谷内祐二)のレンタカー事業で、スローパンク※¹ 検知機能を新たに備えたタイヤの空気圧や温度をリモート監視する「空気圧・温度管理サービス」の実証実験をこのほど開始しました。

当社は、これまでの車両リース事業、レンタカー事業を始めとする数十社との同サービスの実証実験を通して、タイヤ空気圧監視システム(TPMS)から取得した空気圧・温度情報をクラウドに蓄積し、その推移をモニタリングする中で、スローパンク検知のアルゴリズムの構築に成功しました。



スローパンク検知の仕組み

今回の実証実験では、DUNLOP(ダンロップ)の乗用車用オールシーズンタイヤ「ALL SEASON MAXX AS1※²(オールシーズンマックス エーエスワン)」を装着するオリックス自動車の新宿西口店のレンタカー約40台に対して、「空気圧・温度管理サービス」を提供し、その効果を検証します。このサービスでは、駐車場に設置されたアンテナ圏内のTPMS装着車両のタイヤ空気圧や温度情報を一括してタブレット端末などで確認・管理できます。

今回新たに備えたスローパンク検知機能では、当社が開発したスローパンク検知のアルゴリズムに基づき、空気圧・温度の変化をTPMSが監視し、異常発生時に管理者にアラートを通知する仕組みになっています。目視点検や運転中の違和感では発見することが非常に難しいスローパンクを早期に見つけることでタイヤトラブルを未然に防ぐことを可能にします。

この実証実験を通して、レンタカー事業の安全運行をサポートするサービスとして、タイヤトラブルの未然防止や点検作業の効率化・工数削減、燃費改善などの具体的な効果を検証し、さらなる価値の提供およびサービスの向上に取り組みます。

自動車産業を取り巻く環境が大きく変化する中、当社は「さらに高い安全性能・環境性能」を実現するた

め、タイヤ開発および周辺サービス展開のコンセプトである「SMART TYRE CONCEPT」を掲げています。周辺サービス展開の 1 つである「空気圧・温度管理サービス」により、車両の安全・安心な運行を支えることで、これからも安全で事故のない社会づくりに貢献していきます。

※1 ごく小さい穴や亀裂、リムとタイヤビード間からのエア漏れ、エアバルブからの漏れなどにより徐々に空気が抜けていく状態。

※2 急な雪にも慌てないオールシーズンタイヤ DUNLOP「ALL SEASON MAXX AS1」新発売(2019 年 08 月 05 日リリース):

https://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2019/sri/2019_063.html

■会社概要

住友ゴム工業株式会社

本社 : 兵庫県神戸市中央区脇浜町 3-6-9

代表 : 代表取締役社長 山本 悟

創業 : 1909 年

事業内容 : 各種タイヤ、スポーツ用品、産業品の製造販売
タイヤでは DUNLOP、FALKEN ブランドでグローバルに展開

オリックス自動車株式会社

本社 : 東京都港区芝 3-22-8

代表 : 代表取締役社長 上谷内 祐二

創業 : 1973 年

事業内容 : 自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、中古車販売・売却サポート

以上